

## NRIサイバーパテントとFRONTEOが 特許調査におけるAI活用について協業を開始

NRIサイバーパテント株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高野誠司、以下、「NRIサイバーパテント」と）、人工知能（AI）を駆使したビッグデータ解析事業を手がける株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本正宏、旧UBIC、以下「FRONTEO」）は、NRIサイバーパテントが提供する特許情報サービス「NRIサイバーパテントデスク2」と、FRONTEOが提供する人工知能による特許調査・分析システム「Lit i View PATENT EXPLORER（以下、「PATENT EXPLORER」）」の連携により、特許調査におけるAI活用の促進を目指す協業を開始します。

国内だけでも、年間約30万件行われている特許の出願手続きに代表される知的財産分野においては、膨大な文献を対象とした調査、分析に多大な労力と、高い専門スキルが求められています。

今回の両社の取り組みでは、高度な検索機能と多彩な閲覧機能を持つ「NRIサイバーパテントデスク2」と、FRONTEOが独自に開発した人工知能「KIBIT（キビット）」により特許の調査・分析作業を効率化させる「PATENT EXPLORER」の2つを連携させることで、先行技術調査や無効資料調査など、調査・分析作業の効率化を実現します。この連携を活用した業務イメージは、以下の通りです。

### ①「NRIサイバーパテントデスク2」による文献の絞り込み

「NRIサイバーパテントデスク2」のキーワード検索などの多様かつ高精度な検索機能を用いて、膨大な特許文献から調査・分析対象となる文献の絞り込みを行います。

### ②「PATENT EXPLORER」による特許文献のスコアリング

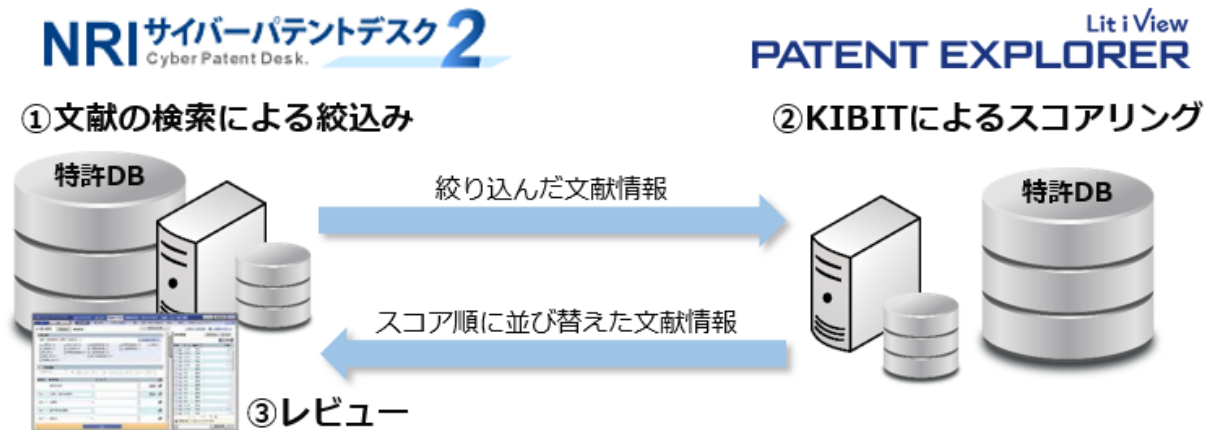
①で得られた文献の中から教師データを指定し、人工知能「KIBIT」で関連度の高さ順にスコア付けを行います。この場合の教師データとは、無効にしたい特許に係る特許公報など、調査の対象となる特許文献（もしくは発明の特徴を明確に列挙したテキスト）です。

### ③「NRIサイバーパテントデスク2」による特許文献のレビュー

②でスコア順に並べ替えられた文献を、「NRIサイバーパテントデスク2」が搭載する多彩な閲覧機能を用いてレビューします。

これにより、例えば1,000件の特許文献調査に際して、「PATENT EXPLORER」によるスコア付けを行うことで、上位10-20%（100-200件）の文献調査に注力できるなど、調査効率の大幅な向上が期待できます。また、スコア付けされた結果のフィードバックを行うことで、人工知能「KIBIT」が再学習を行い、より精度の高い結果を導くことが期待できます。

■本連携を活用した業務イメージ



※両製品はクラウドサービスとして提供しております。

※本リリースに記載された会社名および製品名等は登録商標です。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 水谷、坂  
TEL: 03-6270-8100 E-mail: [kouhou@nri.co.jp](mailto:kouhou@nri.co.jp)

株式会社FRONTEO コーポレートコミュニケーション部 廣瀬、水口  
TEL: 03-5463-6380 E-mail: [u-contact@fronteo.com](mailto:u-contact@fronteo.com)

【製品・サービスに関するお問い合わせ】

NRI サイバーパテント株式会社 営業企画部  
TEL: 03-5208-1011 E-mail: [patent@nri.co.jp](mailto:patent@nri.co.jp)

株式会社FRONTEO BI ソフトウェアセールス部  
TEL: 03-5463-7577 E-mail: [biss@fronteo.com](mailto:biss@fronteo.com)

## 【ご参考】

2016年11月9日（水）から11日（金）の3日間、東京都千代田区の科学技術館で開催される「2016 特許・情報フェア&コンファレンス」において、今回の両社の連携についてご紹介する予定です。詳細は、両社いずれかのブースのスタッフにお問い合わせください。

名 称 : 2016 特許・情報フェア&コンファレンス  
会 期 : 2016年11月9日（水）～11日（金） 3日間 10:00～17:00  
会 場 : 科学技術館（東京・北の丸公園）東京都千代田区北の丸公園2-1  
入場料 : 1,000円（招待券持参の場合は無料）  
URL : <http://www.pifc.jp/>  
・NRIサイバーパテントブース番号 : 9号館 3  
・FRONTEOブース番号 : 4号館 43

各製品に関する詳細については、以下のURLよりご確認ください。

### ■NRIサイバーパテントデスク2

<https://www.patent.ne.jp/service/patent/>

### ■Lit i View PATENT EXPLORER

<http://www.kibit-platform.com/products/patent-explorer/>

【NRIサイバーパテントについて】URL : <https://www.patent.ne.jp/>  
知的財産業務に関するフルサポートパートナーとして企業の知的財産戦略を支援する、株式会社野村総合研究所のグループ会社です。インターネットで特許情報を検索・閲覧できる情報サービス「NRIサイバーパテントデスク2」、テキストマイニング技術を活用し、知的財産ポートフォリオの解析・可視化を支援する分析サービス「TRUE TELLERパテントポートフォリオ」、あらゆる業界・業種で利用可能な知的財産管理システム「TOPAM」・「NAVI OFFICER / N」、インターネットを通じて電子データの存在日付を証明するタイムスタンプサービス「Cyber Date Stamp」などのITソリューションや、野村総合研究所グループがこれまでリサーチ・コンサルティング業務で蓄積してきた知見・ノウハウを結集し、技術や知的財産に関する幅広いリサーチ・コンサルティングサービスを提供しております。

### 【FRONTEO について】URL: <http://www.fronteo.com/>

独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行うeディスカバリ（電子証拠開示）や、コンピュータフォレンジック調査を支援する企業として2003年8月に設立。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Lit i View®（リット・アイ・ビュー）」、アジア言語（日本語、中国語、韓国語）に対応した「Predictive Coding®（プレディクティブ・コーディング）」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援サービスを提供しています。同事業で培われ、発展した独自の人工知能関連技術は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現。最近ではヘルスケアやビジネス・インテリジェンス、マーケティングなどの領域に活用し、事業の拡大を進めています。2007年6月26日東証マザーズ、2013年5月16日NASDAQ上場。資本金1,764,965千円（2016年9月30日現在）。2016年7月1日付けで株式会社UBICから現社名に変更しております。

以上